

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年 8月 2日

計画の名称	藤井寺市における水環境整備事業（その2）															
計画の期間	平成27年度～平成29年度（3年間）					交付対象	藤井寺市									
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
計画の成果目標（定量的指標）	①行政人口66,455人（平成25年度末）の下水道処理人口普及率を76%（H27当初）から79%（H29末）に増加させる。 ②下水道認可区域面積434.76ha（平成26年度末）の10年確率降雨に対する浸水解消率を10.2%（H27当初）から10.3%（H29末）に増加させる。															
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考				
										当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)		最終目標値 (H29末)			
① 下水道処理人口普及率 下水道処理人口区域人口 / 行政人口（66,455人）										76%	78%		79%			
② 10年確率降雨に対する浸水解消率 浸水解消面積 / 下水道法認可区域面積（434.76ha）										10.2%	10.3%	10.3%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,826百万円 1,388百万円	A	1,820百万円 1,386百万円	B	0百万円	C	6百万円 2百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.3% 0.1%					
事後評価（中間評価）																
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期										
市内部評価						平成30年6月										
						公表の方法										
						ホームページにて掲載										
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29			
A1-1	下水道	一般	藤井寺市	直接	—	汚水	新設	大井処理区汚水管渠	汚水管渠φ200～350 L=5,739m	藤井寺市					1,093	
A1-2	下水道	一般	藤井寺市	直接	—	雨水	新設	京樋雨水幹線	雨水管渠2,200×2,000 L=229m	藤井寺市					293	
											合計	1,386				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29				
C-1	施設整備	一般	藤井寺市	間接	個人	接続助成	水洗便所改造補助事業（市内一円）	水洗便所改造補助	藤井寺市					2		
											合計	2				

番号	一体的に実施することにより期待される効果			備考
C-1	水洗化便所改造時に助成金を補助することにより、公共下水道の接続率の向上をはかる。			
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・汚水管渠の整備によって、下水道処理人口普及率が76%（平成27年度当初）から79%（平成29年度末）と目標（79%）を達成した。 ・雨水管渠の整備によって、10年確率降雨に対する浸水解消率が10.2%（平成27年度当初）から10.6%（平成29年度末）と目標（10.3%）より若干上回った。 <p>これらの事業を行うことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することに寄与することができた。</p>		
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	79%	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	79%	
	指標②（10年確 率降雨に対する 浸水解消率）	最終目標値	10.3%	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	10.6%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項（今後の方針等）				
汚水管渠および雨水幹線の整備を引き続き行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。				

(参考図面)

